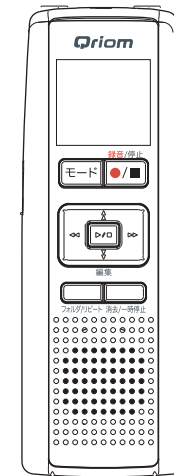


キュリオム
Qriom
デジタルボイスレコーダー
VR-SU701
取扱説明書(保証書付)

ご使用になる前に
この取扱説明書(保証書付)を最後までお
読みのうえ正しくお使いください。



商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター

 **0570-00-9106**

受付時間:
月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

E-mail: support@qriom.com

ホームページ: <http://www.qriom.com>

この度は、デジタルボイスレコーダーをお
買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいた
だき、機能を十分にいかして正しくご愛用下
さい。お読みになった後は大切に保管し、わ
からないことや不具合が生じたときに
お役立て下さい。

1. 安全上のご注意	3	6. 録音内容の編集	25
2. はじめに	5	録音したファイルの分割	25
製品の特長	5	録音したファイルの一部分の消去	26
付属品一覧	5	7. 録音内容の消去	28
本体各部の名称	6	1ファイルの消去	28
画面の説明	7	フォルダ内の全てのファイルの消去	29
電池の入れ方	7	8. 各種設定	30
3. 基本的な使い方	8	操作の流れ	30
電源の入れ方	8	設定方法	32
電源の切り方	8	音質設定	32
ホールドスイッチの使い方	8	マイク感度設定	33
SDカードの取扱について	9	VOX設定	34
再生について	9	日時の設定	34
録音について	9	録音保存先の設定	34
大事なデータの保護	9	メモリーのフォーマット	34
SDカードの使い方	10	9. 外部機器との接続	35
カードの挿入	10	外部マイクロフォンとの接続（別売・市販品）	35
カードの取り出し	11	他の機器との接続	35
SDカード、内蔵メモリーのフォーマット	11	録音した内容をテープレコーダー等に録音する	35
内蔵メモリーとSDカードの切り替え方	13	CDプレーヤーから音楽を録音する	35
音量の調節	14	テレビの音声を録音する	36
時計設定の仕方	14	10. PCとの接続	36
4. 録音するには	18	本機とPCを接続する	36
録音	18	本機とPCの接続を解除する	36
VOX機能時の録音	20	PC上における録音ファイルの取り扱い	38
VOXの設定	20	「Voice Manager」の使用方法	39
5. 録音した音声を聞くには	21	音声ファイルの変換	39
再生	21	変換した音声ファイルの再生	42
再生停止	21	11. ご注意	44
一時停止	22	12. アフターサービスについて	45
ファイルの早送り	22	個人情報のお取り扱いについて	45
ファイルの早戻し	22	13. お手入れの仕方	46
リピート再生	23	点検のお願い	46
1ファイルのリピート再生	23	14. 故障かな？と思ったら	47
フォルダ内の全てのファイルの再生	23	15. 仕様	48
A-B間リピート再生	24	保証書	

1. 安全上の警告およびご注意



※ ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容を良くお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物の損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵の表示例

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」を表しています。

記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が描かれています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」ということを表しています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告	
	修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。 ● 火災・感電・けがの原因となります。
	自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。 ● 本体の変形・故障の原因となります。
	不安定な場所や傾いたところでは使用しない。 ● 落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
	水につけたり、水をかけたりしない。 ● ショート・感電の恐れがあります。
	開口部やすき間から異物を入れない。 ● 火災・感電の恐れがあります。
	雷が鳴り出したら本体に触れない。 ● 感電やけがの恐れがあります。

注意	
	子どもだけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しない ● けがや感電の原因となります。
	本体を布などで覆ったり、風通しの悪い狭い場所に設置しない ● 内部に熱がこもり火災や故障の原因となります。
	乾電池の取扱いには注意する ● ショートさせたり、分解・加熱・火の中に投げ込んだりすると破裂してけがの原因となります。
	使用済み乾電池は、決められた場所に捨ててください ● お住まいの地域で定められた分別方法に従ってお捨ててください。
	乾電池は指定された物を正しく使用する ● 新旧をまぜたり、種類の違う物を使用すると破裂・液もれによるけがや故障の原因となります。

電池に関する注意

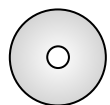
下記の注意事項をよくお読みの上、必ず守るようにしてください。

- 必ず電池のプラス(+)、マイナス(-)を正しく挿入してください。
- 爆発及び破損の恐れがあるので、バッテリーを分解したり熱を加えたりショートさせたりしないで下さい。
- 長時間使用しない時は、バッテリーを抜いて保管して下さい。抜かない場合、液もれの原因となります。
- 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流して下さい。また、液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談して下さい。
- 指定された種類の電池を使用して下さい。
- 付属の電池はテスト用のサービス電池となっています。お客様のお手元に届くまでに消耗している場合がございます。その際は、お手数でも新品の電池（市販品）をお買い求めください。

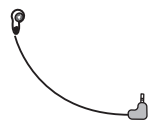
製品の特長

- コンパクトサイズなので持ち運びには最適です。
- LPモード時で最高約25.5時間の長時間録音ができます。（内蔵）
- 4つの録音モードから録音音質を選択できます。
- 本機内蔵メモリにお手持ちのSDカードを加えるとさらに長時間の録音が可能となります。SDカードなので録音データの持ち運びが簡単、便利です。
- ファイル分割・部分消去といった充実した編集機能も搭載
- 大口径スピーカーを搭載していますので録音した音声をはっきりと聞くことができます。

付属品一覧



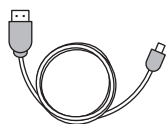
付属CD-ROM



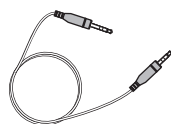
モノラルイヤホン



単4形アルカリ乾電池



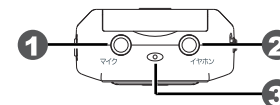
USBケーブル



ラインケーブル

本体各部の名称

<本体上面>

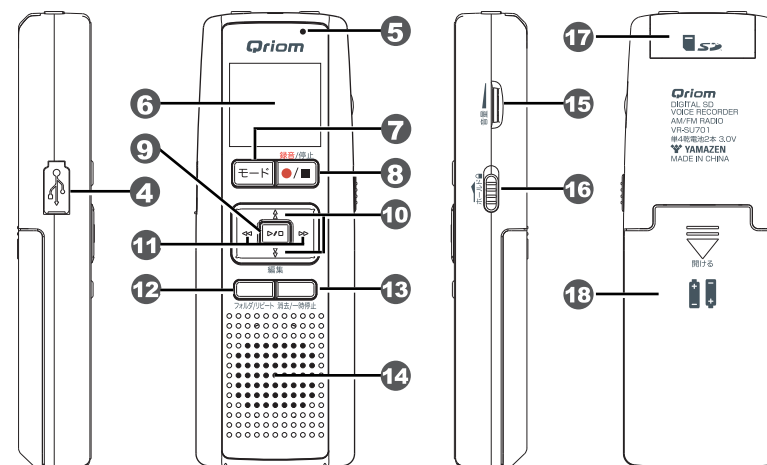


<本体左側面>

<本体前面>

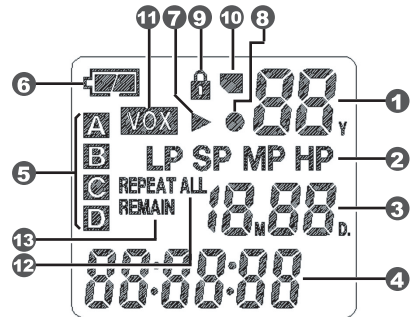
<本体右側面>

<本体裏面>



- | | |
|-------------|----------------|
| ① 外部マイク | ⑩ 上下選択（↑/↓）ボタン |
| ② イヤホンジャック | ⑪ 左右選択（←/→）ボタン |
| ③ 内蔵マイク | ⑫ ファイル/リピートボタン |
| ④ USB端子 | ⑬ 消去/一時停止ボタン |
| ⑤ 録音LED | ⑭ スピーカー |
| ⑥ 液晶画面 | ⑮ ボリュームつまみ |
| ⑦ モード/電源ボタン | ⑯ ホールドスイッチ |
| ⑧ 録音/停止ボタン | ⑰ SDカードスロット |
| ⑨ 再生/停止ボタン | ⑱ 電池カバー |

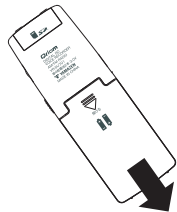
画面の説明



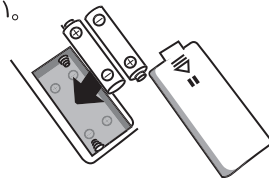
- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 1 ファイル番号／西暦（下2桁） | 8 録音状態アイコン |
| 2 録音音質 | 9 ホールドアイコン |
| 3 日付表示（月、日） | 10 SDカードアイコン |
| 4 時刻表示、録音時間表示 | 11 VOX機能アイコン |
| 5 選択しているフォルダ | 12 リピート状態アイコン
／リピートオール状態アイコン |
| 6 電池残量アイコン | 13 録音残時間表示アイコン |
| 7 再生状態アイコン | |

電池の入れ方

1 電池カバーを外して下さい。



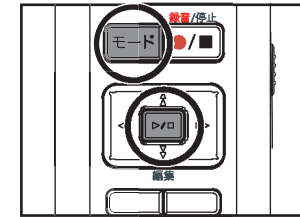
2 付属の単4アルカリ電池を＋との向きに注意して入れてください。



3 電池カバーを取り付けて下さい。

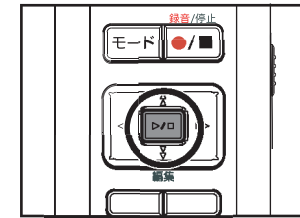
電源の入れ方

再生／停止ボタンを短く押し、次にモードボタンを短く押します（録音モード）。



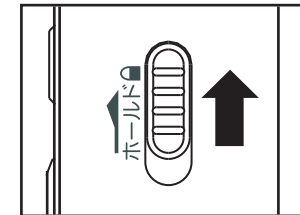
電源の切り方

再生／停止ボタンを約2秒以上長押しします。

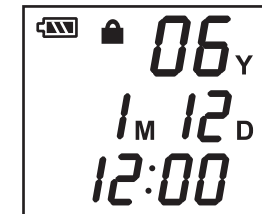


ホールドスイッチの使い方

- 本体右側面部にあるホールドスイッチを矢印の方向にスライドさせると誤動作を防ぐことができます。
- ホールド状態を解除するにはホールドスイッチを矢印とは逆側にスライドさせます。



※ 本体が動作しない場合、ホールドスイッチが矢印の方向にスライドされていないか確認してください。



SDカードの取扱について

本機ではSDメモリーカード、miniSDカードが使用できます。（別売・市販品です。）

※miniSDカードをお使いの場合miniSDアダプターが必要です。

再生について

本機で録音したデータは本機でのみ再生することができます。

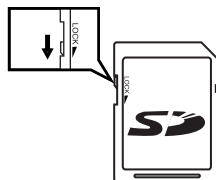
※PC上で聞く場合には、専用ソフトでファイル形式を変換する必要があります。

録音について

- 本機で録音した音声は、オリジナル形式で保存されます。
- 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。SDカード本体や記録データが破損する恐れがあります。
- CCCDなどコピー制限情報などが埋め込まれている場合は録音できないことがあります。

大事なデータの保護

- 書き込みスイッチを下げ「LOCK」状態にします。
- 新たにデータを録音したい場合は解除してください。



⚠ 注意

- 使用後取り出した後は必ずケースに入れて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入したときに故障の原因となります。
- 貼られているラベルは剥がさないでください。
- ラベル・シールは貼らないでください。
- 金属端子部分は触らないでください。

SDロゴは松下電器産業(株)、SanDisk Corporation、(株)東芝の登録商標です。

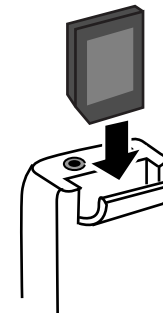
SDカードの使い方

カードの挿入

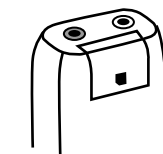
- 1 SDカードスロットのふたを開きます。



- 2 SDカードを「カチッ」と音がするまで差込みます。



- 3 SDカードスロットのふたを閉めます。

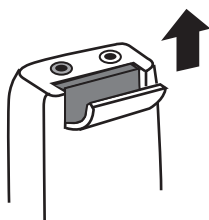


カードの取り出し

- 1 電源を切った状態でSDカードスロットのふたを開けます。



- 2 SDカードを「カチッ」と音がするまで押し込むと、外に少し押し出されます。



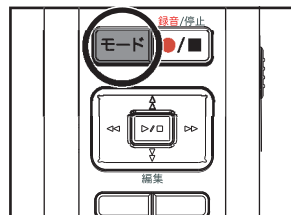
- 3 そのままSDカードをスロットから取り出し、ふたを閉めます。



SDカード、内蔵メモリーのフォーマット

最初に本機でSDカードをご使用になる場合はSDカードを初期化（フォーマット）することをお勧め致します。

- 1 ボイスレコーダーモードの状態でもードボタンを約3秒間長押しします。



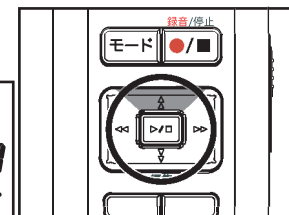
※ ボイスレコーダーモードにするにはP18を参照してください。

画面が消えている場合：再生/停止ボタンを押します。時計が表示されるのでモードボタンを押すとボイスレコーダーモードになります。
時計が表示されている場合：モードボタンを押すとボイスレコーダーモードになります。

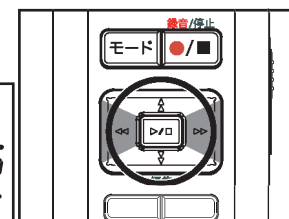
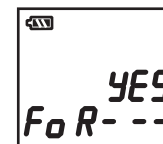
- 2 P13 内蔵メモリーとSDカードの切り替え方を参考にしてフォーマットしたいメモリーを選択します。

- 3 カーソルキーの△ボタンを1回押してフォーマットの画面にします。

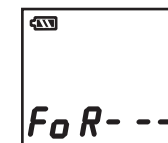
●画面の表示
SET"HP、MP、SP、LP"
→フォーマット設定"FOR"



- 4 カーソルキーの<<又は>>ボタンを押して画面表示を"no"→"YES"にします。



- 5 消去/一時停止ボタンを約3秒長押しすると"YES"の表示が消えてフォーマットが始まります。



3. 基本的な使い方

キュリオム
Qriom

キュリオム
Qriom

- 6** 正常に終了すると、音質設定“HP、MP、SP、LP”の画面に戻ります。



- 7** モードボタンを押すとボイスレコーダーモードになり、すぐに録音することができます。

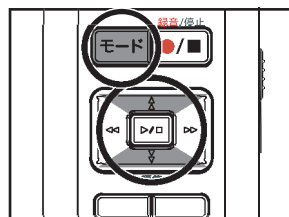
注意：

フォーマットを行うと保存された内容はすべて消去され初期化されます。フォーマットを実行する際は十分に確認してから行ってください。大事なデータはパソコンにバックアップしてからフォーマットするようにしてください。

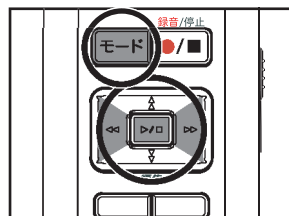
内蔵メモリーとSDカードの切り替え方

内蔵メモリーをご使用の場合はそのままご使用ください。SDカードへの切り替えをするには、SDカードを挿入した後以下の操作をします。

- 1** SDカード挿入後、電源を入れてからモードボタンを約3秒以上長押しします。設定モードに入るので、上下選択ボタンでのアイコンが表示されるまで押します。

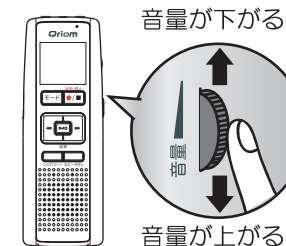


- 2** 左右選択ボタンで「オン」に選択します。再生ボタンを押すと決定し、モードボタンを押すと元の画面に戻ります。



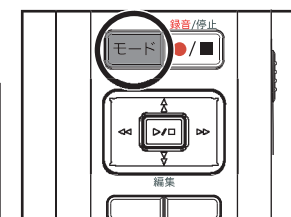
音量の調節

ボリュームつまみは本機の右側面にあります。上の方向に動かすと音量が小さくなり、逆に反対の方向に動かすと音量が大きくなります。



時計設定の仕方

- 8** ボイスレコーダーモードの状態でもードボタンを約3秒間長押しします。



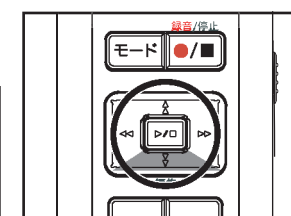
※ ボイスレコーダーモードにするにはP18を参照してください。

画面が消えている場合：再生/停止ボタンを押します。時計が表示されるのでモードボタンを押すとボイスレコーダーモードになります。
時計が表示されている場合：モードボタンを押すとボイスレコーダーモードになります。

<西暦の設定>

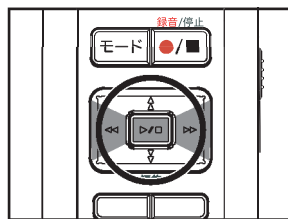
- 9** カーソルキーの▽ボタンを3回押しで西暦の設定画面にします。

●画面の表示
SET“HP、MP、SP、LP”
→MIC→VOX
→西暦設定“Y”



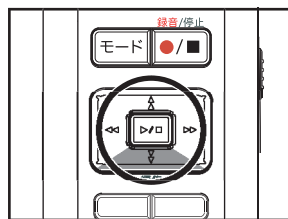
3. 基本的な使い方

- 10** 西暦“Y”が表示されている状態でカーソルキーの<KID>を押して現在の西暦を設定します。再生ボタンを押すと決定されます。

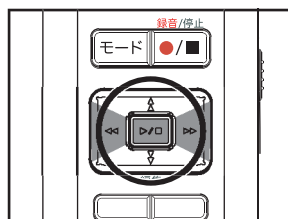


<月の設定>

- 11** カーソルキーの▽ボタンを押して月の設定画面にします。

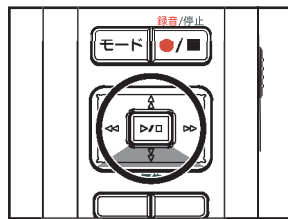


- 12** 月“M”が表示されている状態でカーソルキーの<KID>を押して現在の月を設定します。再生ボタンを押すと決定されます。

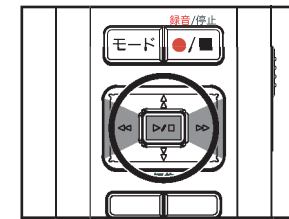


<日の設定>

- 13** カーソルキーの▽ボタンを押して日の設定画面にします。

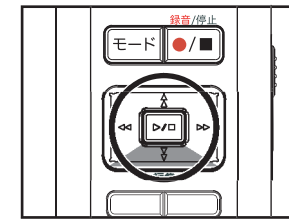


- 14** 日“D”が表示されている状態でカーソルキーの<KID>を押して現在の月を設定します。再生ボタンを押すと決定されます。

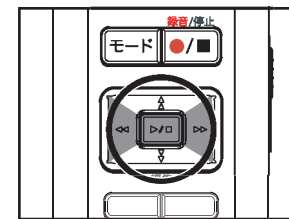


<時の設定>

- 15** カーソルキーの▽ボタンを押して時の設定画面にします。

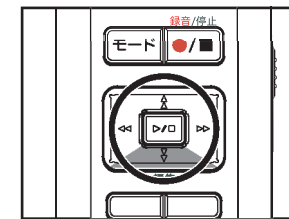


- 16** カーソルキーの<KID>を押して現在の時を設定します。再生ボタンを押すと決定されます。



<分の設定>

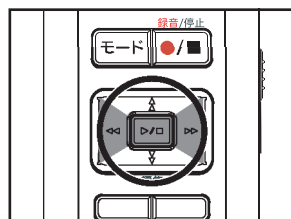
- 17** カーソルキーの▽ボタンを押して分の設定画面にします。



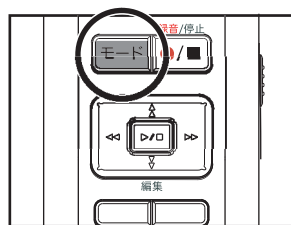
3. 基本的な使い方



- 18** カーソルキーの<KID>を押して現在の時を設定します。再生ボタンを押すと決定されます。

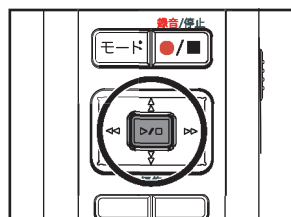
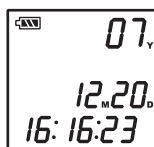


- 19** モードボタンを押すとボイスレコーダーモードになります。



※時計の表示

- ボイスレコーダーモードで再生/停止ボタンを長押しすると時計表示に切り替わります。
- しばらく何も操作しないと時計表示に切り替わります。

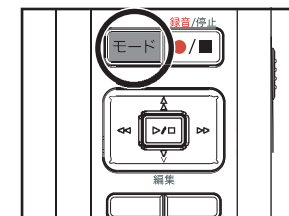


4. 録音するには



録音

- 1** 時計が表示されている状態でモードボタンを押します。ボイスレコーダーモードに切り替わります。



- 2** はじめに各種録音モードを設定します。

■ 録音品質を選択します。

P32 録音品質の設定を参照して設定してください。
"SET"

HP・・・最高品質、MP・・・高品質、SP・・・標準品質
LP・・・長時間録音、低品質

■ マイク感度を設定します。

P33 マイク感度の設定を参照にして設定してください。

■ VOX機能を設定します。

VOX機能とは音があるときだけ録音し、無いときは自動的に一時停止する機能です。

P20 VOX機能の設定を参照して設定してください。

■ 保存先を選択します。

P13 内蔵メモリとSDカードの切り替え方を参照して保存先を決めます。SDカードに保存する場合はSDカードを本体に挿入します。

※SDカードが認識されない場合はP11 SDカード、内蔵メモリーのフォーマットを実行してください。

※保存先をSDカードに設定した場合、画面にSDカードのアイコンが表示されます。

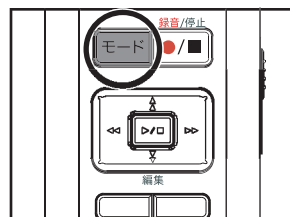


4. 録音するには

キュリオム
Qriom

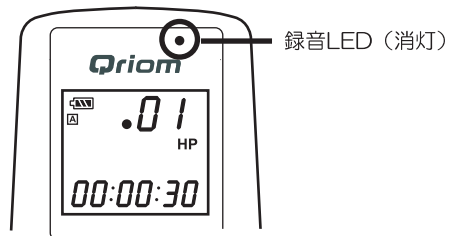
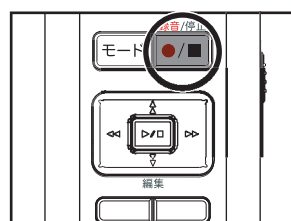
キュリオム
Qriom

設定完了後、モードボタンを押してボイスレコーダーモードに切り替えます。

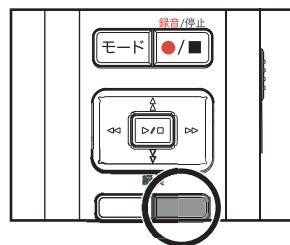
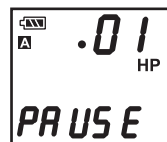


- 3 保存するフォルダをA、B、C、Dから選択します。

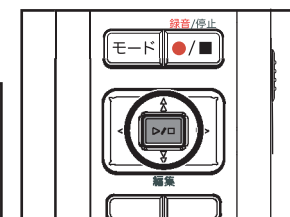
- 4 録音ボタンを押すと録音がスタートします。このときRECランプが点灯します。



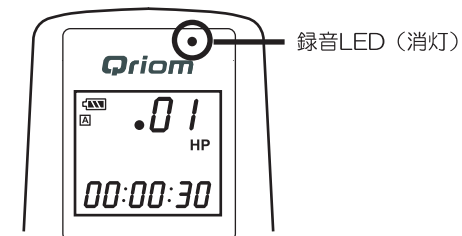
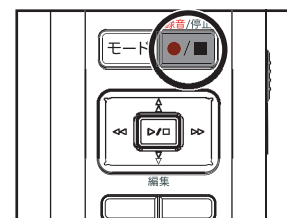
- 5 録音を一時停止する場合は消去／一時停止ボタンを押します。再開する場合は再度、消去／一時停止ボタンを押します。



- 6 録音中に再生／停止ボタンを押すと録音残時間 (REMAIN) が表示されます。



- 6 録音を停止する場合は録音ボタンを押します。RECランプが消灯します。

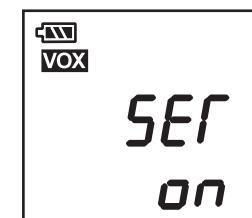
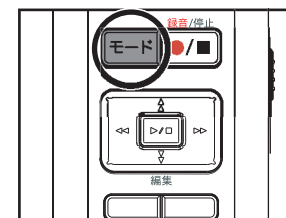


VOX機能時の録音

VOX機能：音声の有無を感知し、音があるときだけ録音する機能
VOX機能での録音中、音が無いときは録音を一時停止し、音があるときは録音を自動的に再開します。

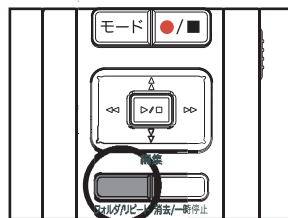
VOXの設定

- 1 電源を入れた後、モードボタンを約3秒以上長押しします。

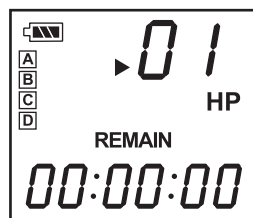
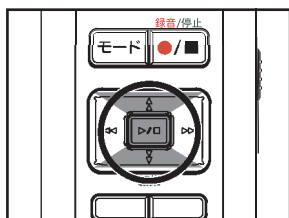


再生

- 1 電源を入れた後、ファイル/リピートボタンで使用するフォルダを選択します。

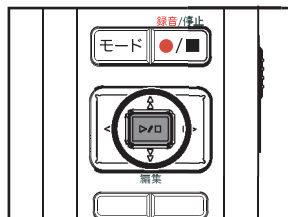


- 2 上下選択ボタンで再生するファイル番号を選択し、再生ボタンを一回押すと再生が始まります。



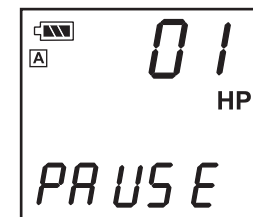
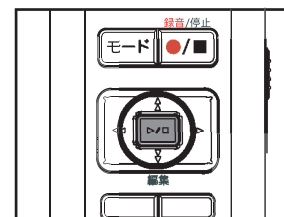
再生停止

再生中に再生/停止ボタンをもう一度押すと、再生は停止します。



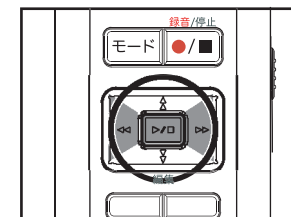
一時停止

再生中に消去ボタンを短く押すと一時停止になります。再生を再開するには再生/停止ボタンをもう一度押します。



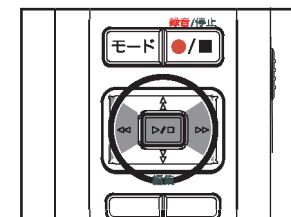
ファイルの早送り

再生中に >> ボタンを一回押すと10秒間隔で早送りします。約3秒間長押しすると、30秒間隔で高速早送りになります。早送り中に左右選択ボタン、再生/停止ボタンのいずれかを押すと通常再生に戻ります。



ファイルの早戻し

再生中に << ボタンを一回押すと10秒間隔で早戻しします。約3秒間長押しすると、30秒間隔で高速早戻しになります。早戻し中に左右選択ボタン、再生/停止ボタンを押すと通常再生に戻ります。

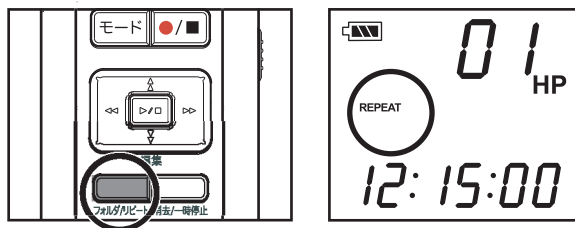


リピート再生

本機では1ファイル、フォルダ内の全てのファイル、A-B間のリピート再生ができます。

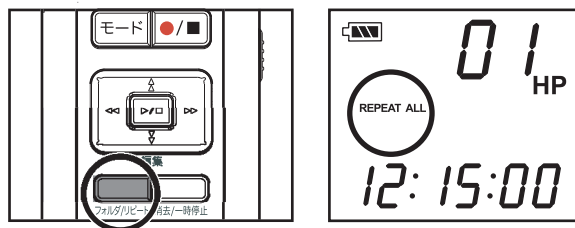
1 ファイルのリピート再生

- 再生中にファイル/リピートボタンを約3秒以上長押しすると、「REPEAT」と表示され、再生中のファイルを繰り返し再生します。



フォルダ内の全てのファイルの再生

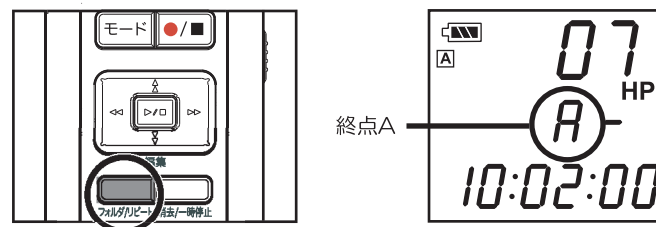
- 1ファイルリピート中にファイル/リピートボタンを約3秒以上長押しすると、「REPEAT ALL」と表示され、再生中のフォルダ内全てのファイルを繰り返し連続再生します。もう一度ファイル/リピートボタンを約3秒以上長押しするとリピート解除となります。



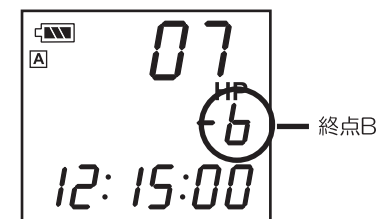
A-B間リピート

A点、B点を設定して、A-B間をリピート再生します。

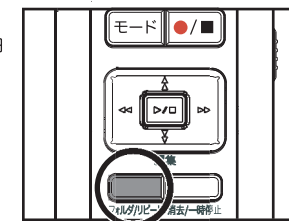
- 再生中にファイル/リピートボタンを短く押すと始点「A」が表示されます。



- もう一度ファイル/リピートボタンを短く押すと終点「B」が表示されます。



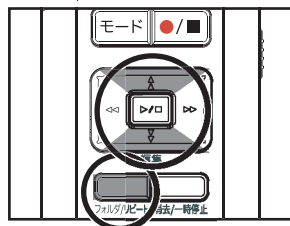
- 「A」から「B」間を繰り返し再生します。もう一度ファイル/リピートボタンを押すとリピート解除になります。



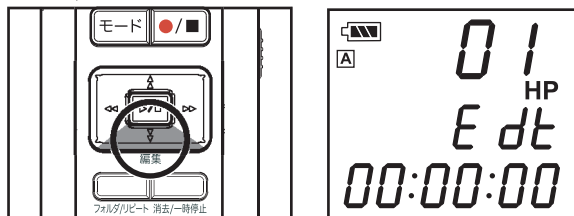
編集機能を使うと、長い録音内容でもお好みの長さに分割することができます。

録音したファイルの分割

- 1** ボイスレコーダーモードで分割するファイルをフォルダ/リピートボタンとカーソルキーの上下で選択します。

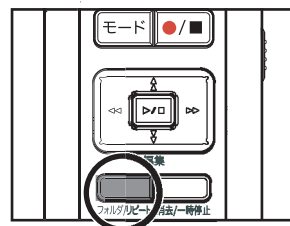


- 2** ↓ボタンを約3秒以上長押しすると画面に「Edt (edit)」と表示されます。

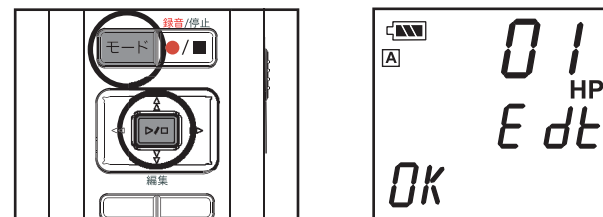


- 3** 再生/停止ボタンを短く押して分割するポイントを探します。

- 4** 分割ポイントを決定したら、ファイル/リピートボタンを短く押します。

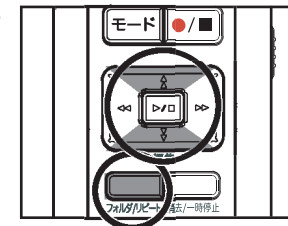


- 5** もう一度再生ボタンを押すと「OK」と表示され、2つのファイルに分割されます。モードボタンを短く押すと元の画面に戻ります。
※モードボタンを押せば、いつでも編集をキャンセルすることができます。

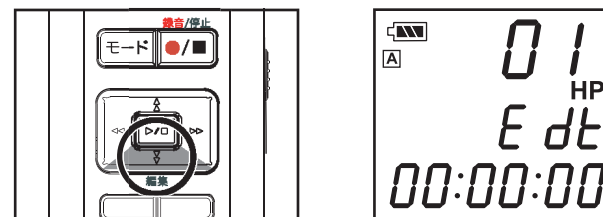


録音したファイルの一部の消去

- 1** ボイスレコーダーモードで部分消去するファイルをフォルダ/リピートキーとカーソルキーの上下で選択します。



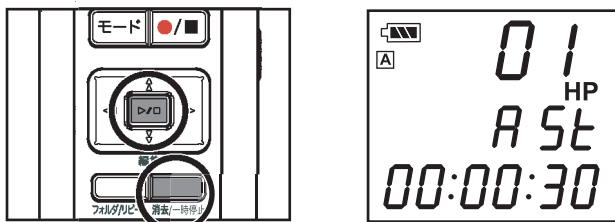
- 2** ↓ボタンを約3秒以上長押しすると画面に「Edt」と表示されます。



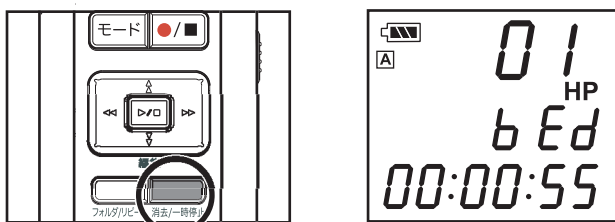
6. 録音内容の編集

キュリオム
Qriom

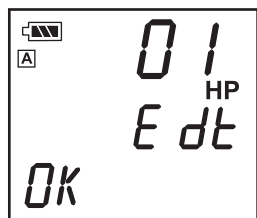
- 3** 再生/停止ボタンを短く押すとファイルが再生されます。消去したいところで消去ボタンを短く押して始点「A」を決定すると、「A St」が画面に表示されます。



- 4** 同様にもう一度消去ボタンを短く押して終点「B」も決定すると、「bEd」が画面に表示されます。



- 5** 再生ボタンを押すと「OK」と画面に表示され、A-B間の内容は削除されます。モードボタンを短く押すとボイスレコーダーモードに戻ります。
※編集作業中にモードボタンを短く押すと、いつでも編集をキャンセルできます。

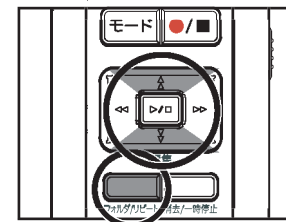


7. 録音内容の消去

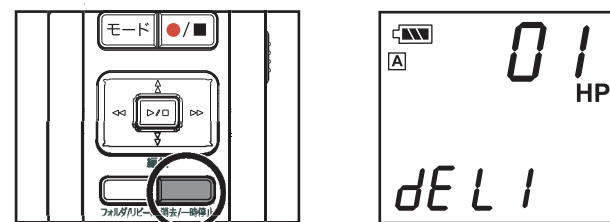
キュリオム
Qriom

1ファイルの消去

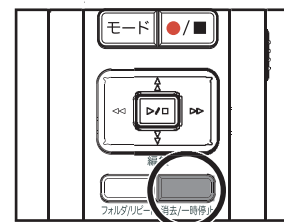
- 1** ボイスレコーダーモードで消去するファイルを選択します。



- 2** 選択後に消去ボタンを短く押すと、「DEL 1」という表示が出て、そのファイルを自動的に再生します。



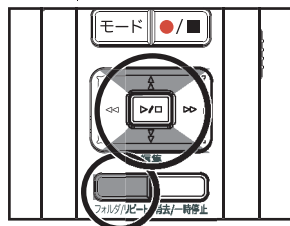
- 2** ファイル再生中にもう一度消去ボタンを短く押すと録音したファイルは消去されます。
※ファイル再生中に消去ボタンを押さなかったり、他のボタンを押したりすると、ファイルの消去はキャンセルされます。



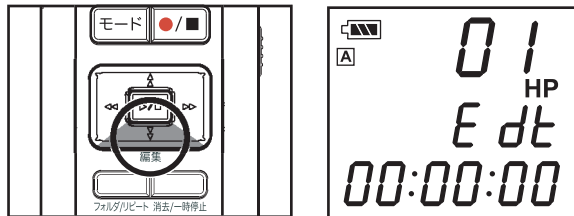
編集機能を使うと、長い録音内容でもお好みの長さに分割することができます。

録音したファイルの分割

- 1** ボイスレコーダーモードで分割するファイルをフォルダ/リピートボタンとカーソルキーの上下で選択します。

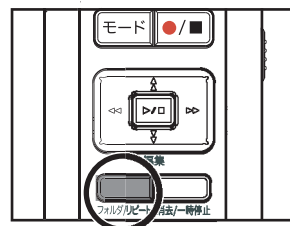


- 2** ↓ボタンを約3秒以上長押しすると画面に「Edt (edit)」と表示されます。

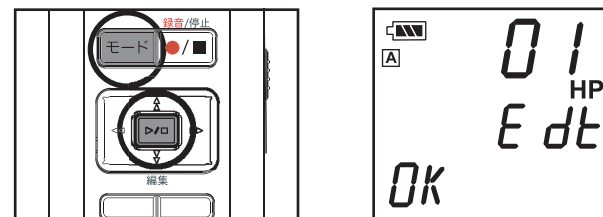


- 3** 再生/停止ボタンを短く押して分割するポイントを探します。

- 4** 分割ポイントを決定したら、ファイル/リピートボタンを短く押します。

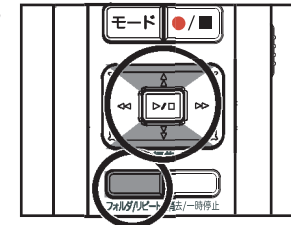


- 5** もう一度再生ボタンを押すと「OK」と表示され、2つのファイルに分割されます。モードボタンを短く押すと元の画面に戻ります。
※モードボタンを押せば、いつでも編集 をキャンセルすることができます。

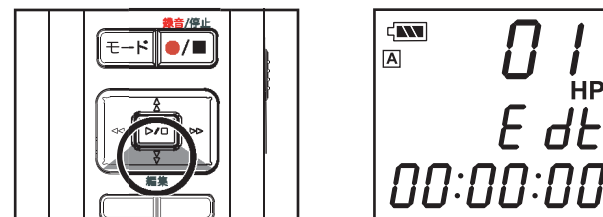


録音したファイルの一部の消去

- 1** ボイスレコーダーモードで部分消去するファイルをフォルダ/リピートキーとカーソルキーの上下で選択します。



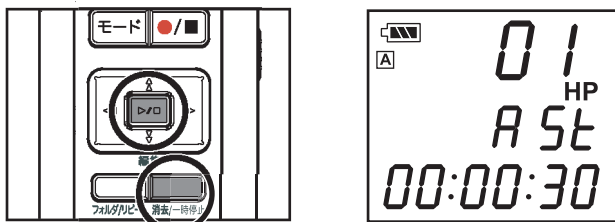
- 2** ↓ボタンを約3秒以上長押しすると画面に「Edt」と表示されます。



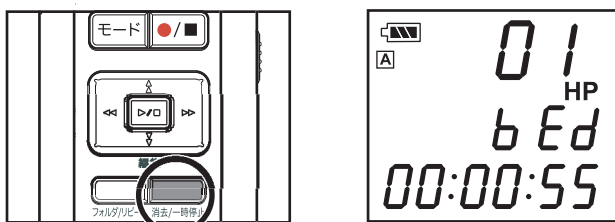
6. 録音内容の編集

キュリオム
Qriom

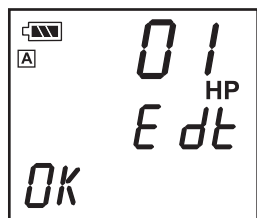
- 3** 再生/停止ボタンを短く押すとファイルが再生されます。消去したいところで消去ボタンを短く押して始点「A」を決定すると、「A St」が画面に表示されます。



- 4** 同様にもう一度消去ボタンを短く押して終点「B」も決定すると、「bEd」が画面に表示されます。



- 5** 再生ボタンを押すと「OK」と画面に表示され、A-B間の内容は削除されます。モードボタンを短く押すとボイスレコーダーモードに戻ります。
※編集作業中にモードボタンを短く押すと、いつでも編集をキャンセルできます。

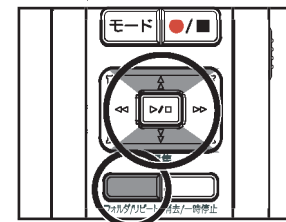


7. 録音内容の消去

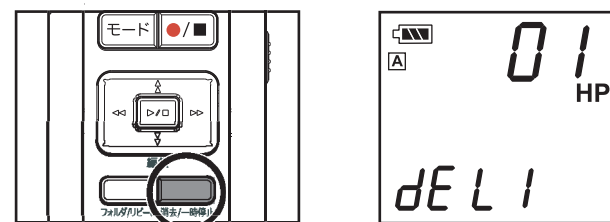
キュリオム
Qriom

1ファイルの消去

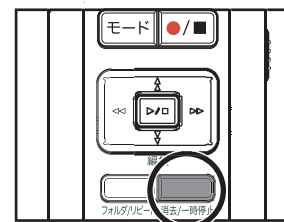
- 1** ボイスレコーダーモードで消去するファイルを選択します。



- 2** 選択後に消去ボタンを短く押すと、「DEL 1」という表示が出て、そのファイルを自動的に再生します。



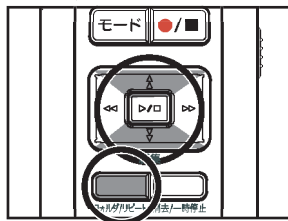
- 2** ファイル再生中にもう一度消去ボタンを短く押すと録音したファイルは消去されます。
※ファイル再生中に消去ボタンを押さなかったり、他のボタンを押したりすると、ファイルの消去はキャンセルされます。



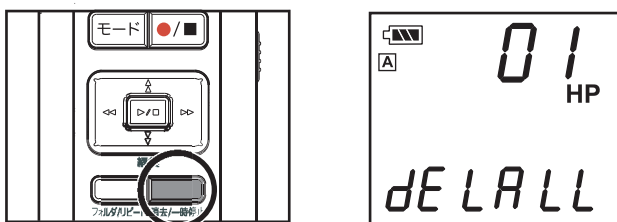
7. 録音内容の消去

フォルダ内の全てのファイルの消去

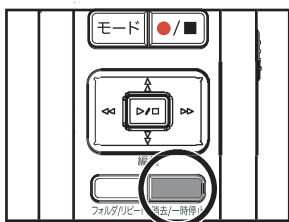
- 1** ボイスレコーダーモードで消去するフォルダを選択します。



- 2** 選択後に消去ボタンを約3秒以上長押しすると、「DEL ALL」という表示が出ます。



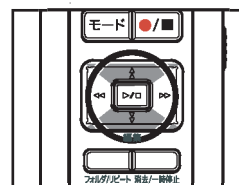
- 3** すぐにもう一度消去ボタンを短く押すと、選択したフォルダ内の全てのファイルが消去されます。
※「DEL ALL」表示中に消去ボタンを押さなかったり、他のボタンを押したりすると、ファイルの削除はキャンセルされます。



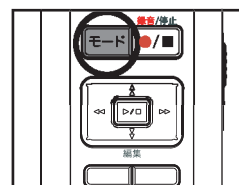
8. 各種設定

本機の各種設定項目について説明します。

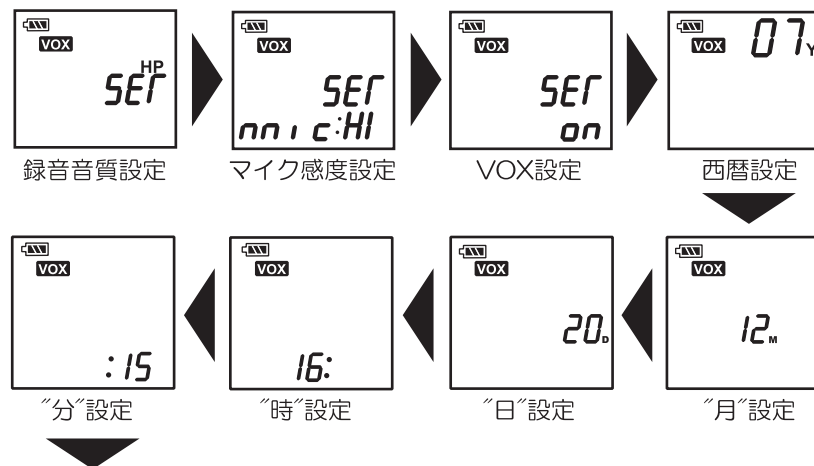
■ 操作の流れ

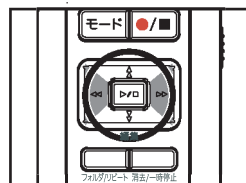


カーソルキーの▽を押して設定モードを切替えます。
△を押すと逆の順番で切り替わります。

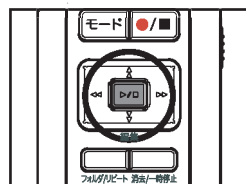


ボイスレコーダーモードの状態でもードボタンを約3秒間長押しします。





各項目の設定は、カーソルキーの「◀」「▶」を押して設定します。



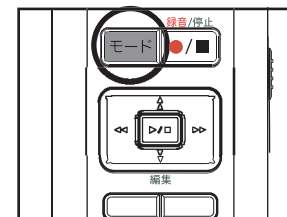
再生/停止ボタンを押すと、設定した内容が保存されます。

■ 設定方法

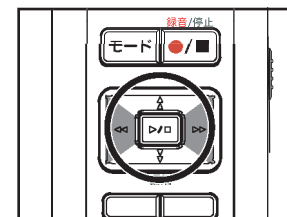
音質設定

4種類の音質から録音音質を選択できます。
 最高音質 HP(High Play)：録音可能時間5.5時間
 高音質 MP(Medium Play)：録音可能時間8時間
 標準音質 SP(Standard Play)：録音可能時間16時間
 低音質 LP(Long Play)：録音可能時間50時間
 ※製品出荷時の設定は「HQ」です

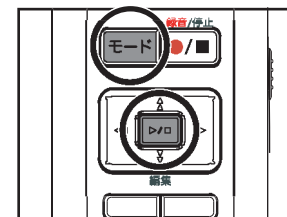
- 1 電源を入れてからモードボタンを約3秒以上長押しします。



- 2 設定モードに入るので、左右選択ボタンで音質を1つ選択してください。

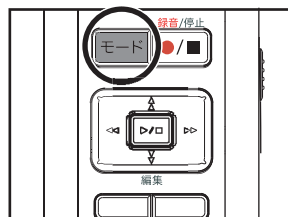


- 3 設定を決定するには再生ボタンを短く押します。モードボタンを短く押すと元の画面に戻ります。

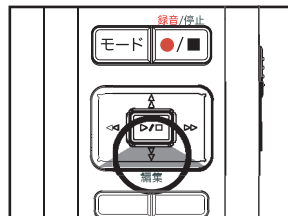


マイク感度設定

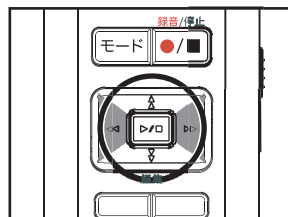
- 1 電源を入れてからモードボタンを約3秒以上長押しします。



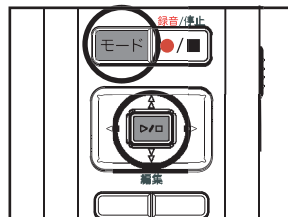
- 2 設定モードに入るので、「mic : HI」と表示されるまで ∇ を押します。



- 3 左右選択ボタンでマイク感度の低 (Low)、高 (High) を選択します。



- 4 再生/停止ボタンで決定し、モードボタンを短く押して元の画面に戻ります。



※製品出荷時は「Hi」に設定されています。

VOX設定

P20を参照してください。

日時の設定

- 西暦 P14を参照してください。
- 月、日
- 時、分

録音保存先の設定

P13を参照してください。

メモリーのフォーマット

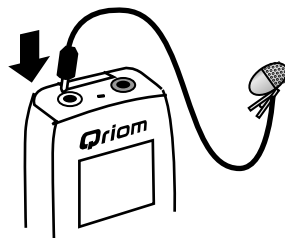
P11を参照してください。

9. 外部機器との接続

キュリオム
Qriom

外部マイクロフォンとの接続(別売・市販品)

別売りの外部マイクロフォンを本機のマイク端子に接続して使用します。

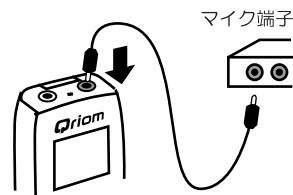


他の機器との接続

付属のラインケーブルを使用しますと、外部機器から本機への録音、本機から外部機器への録音ができます。

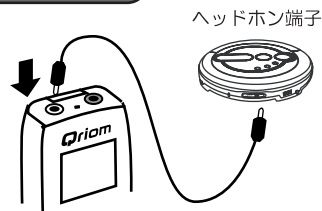
録音した内容をテープレコーダー等に録音する

ラインケーブルをテープレコーダー等の録音できる機器のマイク端子と本機のヘッドホン端子に接続します。



CDプレーヤーから音楽を録音する

ラインケーブルをCDプレーヤーのヘッドホン端子と本機のマイク端子に接続します。

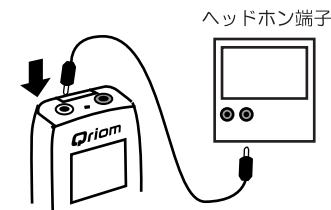


10. PCとの接続

キュリオム
Qriom

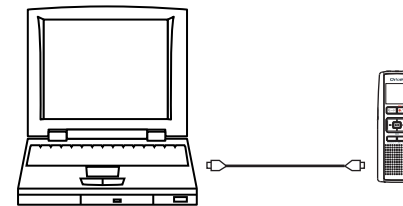
テレビの音声を録音する

ラインケーブルをテレビのヘッドホン端子と本機のマイク端子に接続します。



本機とPCを接続する

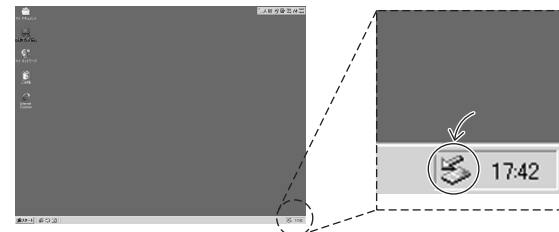
PCと本機を接続します。Windowsがリムーバブルディスクとして自動的に認識します。



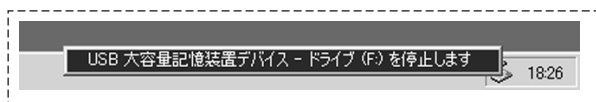
本機とPCの接続を解除する

本機をPCから安全に取り外すために以下の手順を必ず守ってください。

- 1 PCのデスクトップ画面の右下(タスクバーの通知領域)にある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

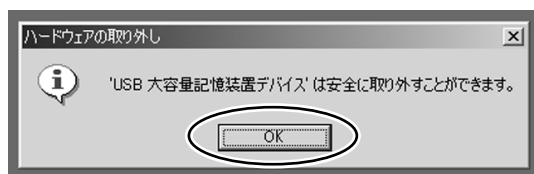


- 2** USB大容量記憶装置デバイスの停止と表示されますので、表示部分をクリックします。



表示はお客様のパソコンの環境によって異なります。

- 3** 「ハードウェアの取り外し」の画面が表示されたらOKをクリックします。



- 4** PCから本機を取り外します。

<ご使用上のご注意>

- 安全に取り外しを行うために、必ず手順を守ってください。間違った手順で取り外しを行った場合、データ損失や機器故障の原因となることもあります。
- 本製品を間違った手順で取り外したことによるパソコン本体などに関する機器のトラブルおよびデータの損失につきましては一切保証いたしませんのでご了承ください。
- 本機とパソコンが通信中の際は本機をパソコンから絶対に取り外さないでください。
- P33 **1** の表示がない場合は、パソコンとアクセスしていないことを確認して、本機を取り外してください。

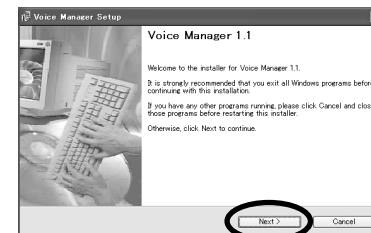
PC上における録音ファイルの取り扱い

本機で録音したファイルはオリジナル形式（LP、SP、MP、HP）で保存されているため、お手持ちのPCで直接聞くことはできません。付属CD-ROMに収録されている「Voice Manager」をインストールして、この録音内容をWAV形式に変換すると、録音内容をPC上で聞くことができます。

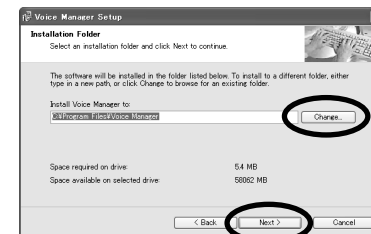
- 1** 付属CD-ROMから「Voice Manager」のセットアップを実行します。マイコンピュータから付属CD-ROMを開きます。「Voice Manager」フォルダに入っている「Setup.exe」をダブルクリックするとインストールが始まります。



- 2** セットアップ画面が表示されたら「Next」をクリックします。



- 3** インストール場所を指定するので「Change」を押して任意のフォルダに指定してください。デフォルトの指定場所でない場合はそのまま「Next」をクリックします。



- 4 ソフトのインストールが開始されます。デスクトップ上に「Voice Manager」アイコンが表示されるので、それをダブルクリックしてソフトを起動します。

「Voice manager」の使い方

■ 音声ファイルの変換

ボイスレコーダーで録音したオリジナルのファイル形式をWAVE形式（WAV）に変換します。

- 1 本機をPCに接続し、「Voice Manager」アイコンをクリック（又はダブルクリック）し起動します。



- 2 左側のウィンドウの上にある「Browse」ボタンをクリックします。

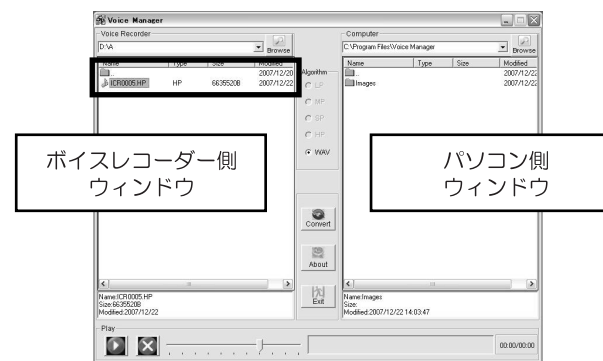


- 3 フォルダ選択画面が表示されますので最初にボイスレコーダーのドライブを選択します。選択するとすぐにフォルダA、B、C、D、sysDataが表示されますので、録音したファイルが保存されているフォルダを選択します。
※sysDataフォルダには音声データは保存されませんので選択しないでください。



※ ボイスレコーダーのドライブは本体内蔵メモリーとSDカードの2つがあります。（SDカード未挿入時のドライブは1つです）

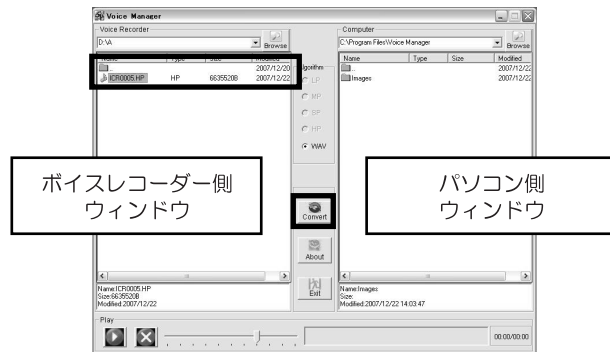
- 4 左側のウィンドウにボイスレコーダー録音ファイルが表示されます。「ICR#####.HP」、「ICR#####.MP」、「ICR#####.SP」、「ICR#####.LP」というファイル名で表示されています。ファイル名をクリックして選択します。



- 5** ③と同様に右側のウィンドウの上にある“Browse”ボタンを押して保存するフォルダを選択します。何も選択しない場合はパソコン上のC:\Program Files\Voice Managerに保存されます。



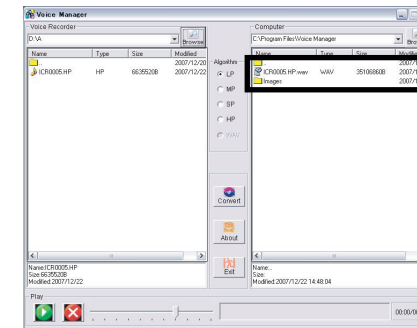
- 6** ボイスレコーダーウィンドウの変換したいファイルがクリックされていることを確認して、“Convert”ボタンをクリックします。



- 7** 変換がスタートして、下記の表示が消えると変換が終了です。

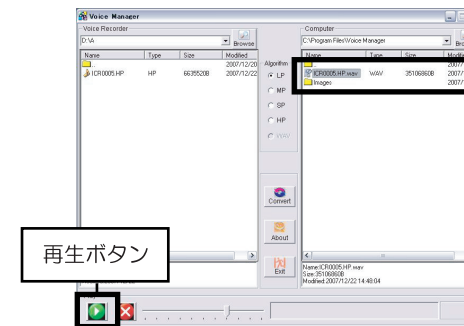


- 8** 変換されたファイルが右側のウィンドウに表示されます。(パソコンに保存されています)

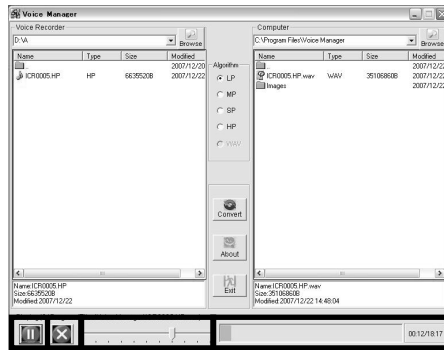


■ 変換した音声ファイルの再生

- 1** 変換したファイルを選択して再生ボタンを押すとパソコンのスピーカーから聞くことができます。

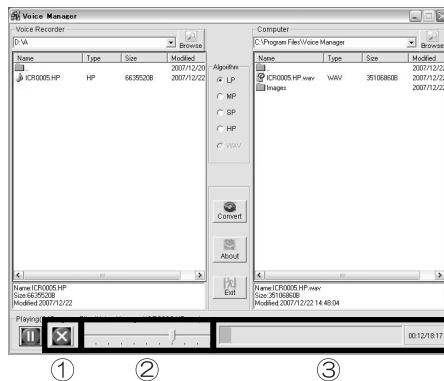


- 2** 再生中、一時停止ボタン（再生中は再生ボタンが一時停止ボタンに変わります）を押すと再生が一時停止します。再度、一時停止ボタンを押すと一時停止したところから再生します。



3 その他の操作

- ①再生停止：再生停止ボタンを押すと再生が停止します。
- ②音量調節：音量ボタンを左にスライドすると音量が小さくなります。右にスライドすると大きくなります。（0～10）
- ③再生経過時間：再生中のファイルの経過時間を表示バーと時間（経過時間／録音時間）で表示します。




- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりません。あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。
また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
 - ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
 - ③本製品のために費やした時間、経費
 - ④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
 - ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常
- また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。詳細は保証書をご覧ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：  **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com

ホームページ：http://www.qriom.com

個人情報のお取扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理義務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

お手入れの仕方

<本体の清掃>

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お 願 い	
<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検を行ってください。

<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても動かないことがある。 ●電源コードの被覆が破れている。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●電源コードが異常に熱い。 ●本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●その他の異常がある。 	<p>★ 異常があれば</p> <p>故障や事故防止のため、電源コンセントからさし込みプラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている 	<p>ほこりやごみを取り除いてください。</p>

14. 故障かな？と思ったら



15. 仕様



本製品に問題が発生した場合は、下記のことをチェックしてください。

症状	原因	対処法
電源		
電源が入らない。	電池残量が少ない。	新しい電池に交換して下さい。
	電池の＋と－が逆。	正しく電池を入れ直して下さい。
	ホールドになっている。	ホールドスイッチを矢印とは逆向きにスライドして下さい。
	動作がおかしい。	電池を一旦抜いて、再度入れ直して下さい。
イヤホン		
音声がイヤホンから聞こえない。	イヤホンが奥まできちんと挿さっていない。	イヤホンの端子を持って奥まできちんと挿して下さい。
	イヤホンをマイク端子に挿している。	イヤホンはイヤホン端子に挿して下さい。
	音量が小さい。	音量を大きくして下さい。
設定画面		
設定画面を表示できない。	設定画面が表示されるまでモードボタンを長押ししていない。	設定画面でモードボタンを約3秒以上長押しして下さい
SDカード		
SDカードを取り出せない。	SDカードを奥に押し込んでいない。	挿入されているSDカードを奥に差し込むと取り外せます。
SDカードが認識されない。	SDカードの設定が「オフ」になっている。	画面にSDカードアイコンが表示されているかを確認して下さい。表示されない場合は、SDカードの設定を「オン」に切り替えて下さい。

製品仕様	
型番	VR-SU701
録音形式	ADPCM(オリジナル形式)
対応ビットレート	LP : 5.2Kbps(8KHz)、SP : 10Kbps(8KHz)、MP : 16Kbps(16KHz)、HP : 32Kbps(16KHz)
内蔵メモリ	64MB
外部メモリ	SDカード
液晶パネル	セグメントLCD
バックライト	無し
出力端子	イヤホン端子φ3.5mm モノラル
入力端子	外部マイク端子φ3.5mm モノラル
S/N比	40dB以上
最大出力レベル	イヤホン : 5mW、スピーカー : 100mW
録音再生周波数範囲	300Hz~3000Hz
外部インターフェイス	USB (Rev.1.1 準拠)
データ転送速度	最大12Mbps
電源	3V、単4形アルカリ乾電池×2
連続再生/録音電池持続時間	再生 : 約6.5時間 (スピーカー音量50%)、録音 : 約10時間
最大録音時間	LP : 約25.5時間、SP : 約8時間、MP : 約4時間、HP : 約2.5時間
外形寸法	H115×W40×D20mm
重量 (本体のみ)	約58g
マスタートレージ機能	対応
パソコン環境	Windows 2000,XP,VISTA

製品仕様	
その他機能	VOX機能 内蔵スピーカー 内蔵マイク マイク感度設定機能 フォルダ数4、各フォルダ99ファイル、 合計396ファイル保存可能 時計機能 A-B間リピート機能 リピート1、ALL機能 変換ツール（パソコン用ソフト）
付属品	モノラルイヤホン USBケーブル 単4アルカリ乾電池 2本 ラインケーブル 取扱説明書 CD-ROM（変換ツール）